

# 教務だより

2018年1月号  
茗溪塾

茗溪塾教務部 03-3659-8638

## 直前でもひとつ「解る」勉強を！

茗溪塾塾長 宇野 雅春

### 絶対になってはいけないパターン

- ① 過去問を合否占いと考へ、一喜一憂しながら、点数にばかりこだわる
- ② やっと受験校の情報に精通したためにその知識を蕩々と友達に披露する  
出遅れているとどうしてもそうなります。

出遅れた人がしなくてはならないのは、1つでも理解することです。解らないと決めつけたまま放置している課題が有れば合格は望めません。それを解決する勉強をすることが力を伸ばすことにつながります。そして本気でやると短時間でやれることもあります。まずはその1つに手をつけることです。あきらめずにやってみよう。

### 無駄なこと

- ① 考えていない、書くだけの作業勉強
- ② 人に全部説明させてきれいにまとめて勉強したと思うこと（勉強したのは教えた人だけ…教えられた後に自分で解き直しが必要）。10時間勉強したとして、自分で考えたり覚えたりする勉強が1時間だけであれば、その1時間だけが勉強した時間です。この1時間が2時間になれば、10時間勉強するより良いわけですから、無駄を省いて実質をとっていくことが大切なのです。

### どうすれば実質的な勉強を増やせるか？

ポイントは「アウトプット」です。

まとめたり、ジーンと眺めたり、覚えたりを「インプット」とすると、テストが「アウトプット」にあたります。模試とか過去問とか問題集とかアウトプットのための教材はたくさんあります。また裏紙を持ってきて、簡単に小テストしてみるのも、立派なアウトプットになります。これを混ぜるとインプットも効率よくなりますし、思ったより頭に入っていることに気がついて、勉強が好きになります。

### 必要に駆られた質問、切実な思いのある質問が大事

質問した直後にすでに、他のことに気持ちが動いている生徒がいます。目が泳いでいて、端的に自分に解らせるのが先生の役割と勘違いしています。生徒が考えていないのに、入試問題を分からせるのは、無理です。先生達はそれでも一生懸命解いて説明します。が効果はありません。解りたいと思ってする質問だけが有効です。

中学受験はスタートしました。高校受験も1月17日千葉県私立をスタートとして始まります。大学受験も私学の一般受験いよいよ始まりました。入試が近づくにつれ生徒の状況は良くなるはずですが、受験を通して本当の意味での勉強に目覚めればそれは大きな財産になるはずですが。